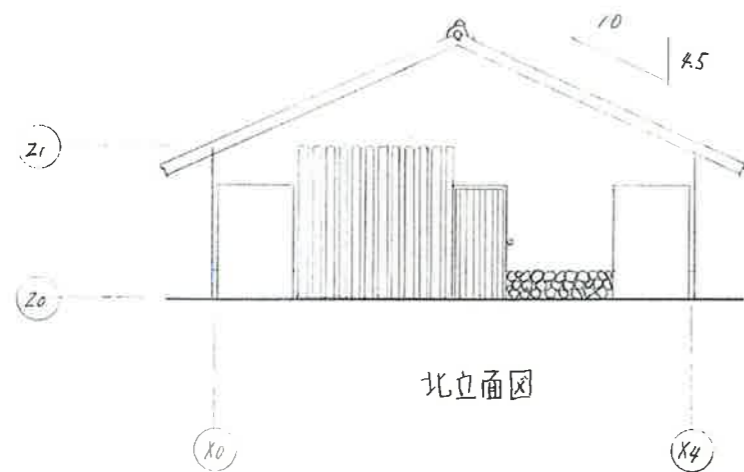


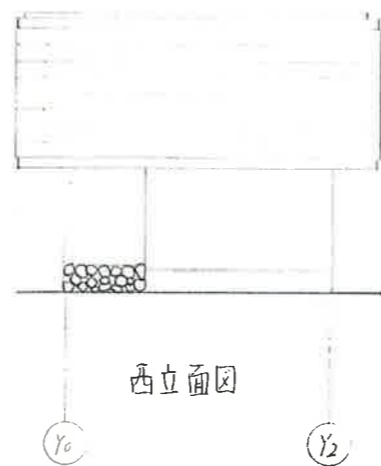
配置兼平面図

和式のトイレを設け深森の
あそびなども使うことの出来るよう
にしました。

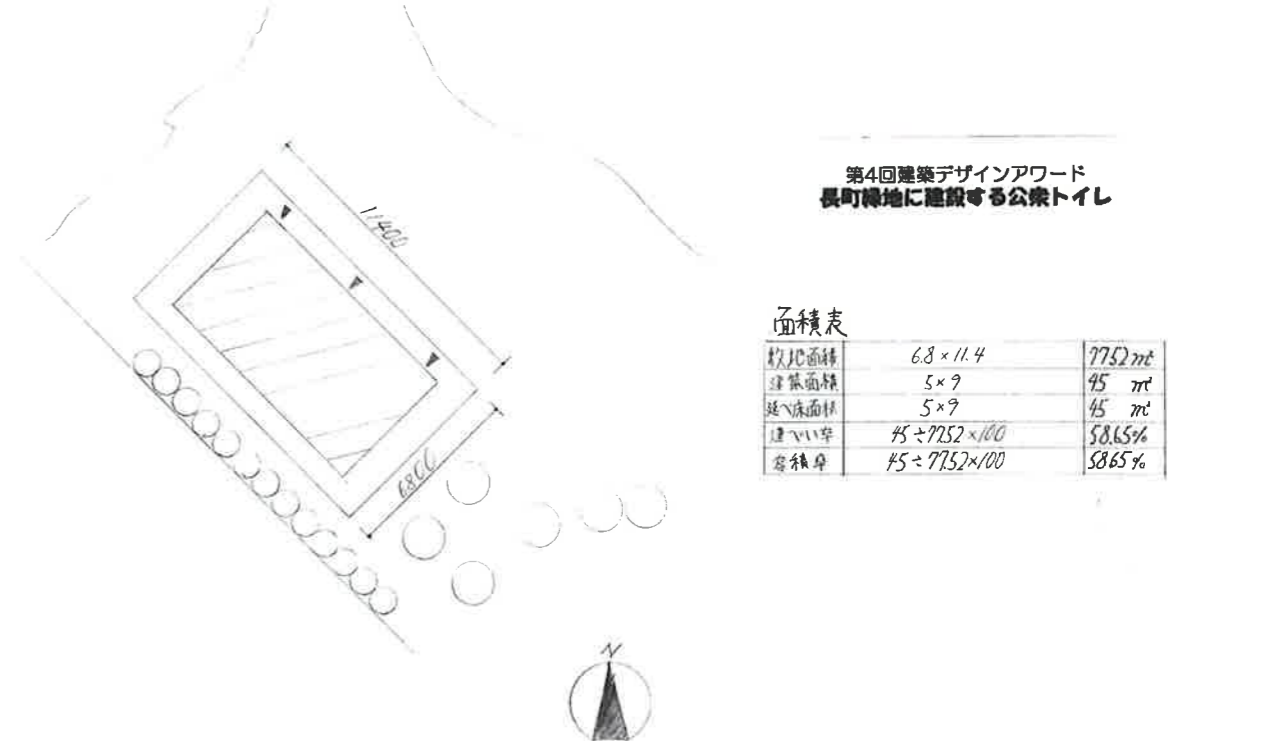
左右対照とし、建物の自主性も均等
にしてゆがみを少なくすることにより、
耐震性に優れたものとなりました。



北立面図



西立面図



面積表

敷地面積	6.8 × 11.4	77.52 m ²
建築面積	5 × 9	45 m ²
延べ床面積	5 × 9	45 m ²
建ぺい率	45 ÷ 77.52 × 100	58.15%
容積率	45 ÷ 77.52 × 100	58.15%

コンセプト

今回のトイレの設計で考えたことは、清潔さ・利便性・安全性・金澤らしさの4つです。具体的には、まず清潔では掃除が行いやすいよう段差を極力減らしました。また汚れを根本から断つと考へ洗面台は7つの大きなものとし水が飛び散っても大丈夫なよう、男子用小便器は普通より大きなものとし尿の飛び散らないよう、男女のトイレのドアを黒くし1回1回ドアのぶら下がりにくいよう、様々な汚れがつかない工夫をしました。

利便性では90というモジュールを取りはらい1000で設計しました。そうすることにより外国人の方なども使いやすい空間を作りました。また入口の大きさを1500と大きめにしたり大便器の個室の中や小便器の上部、他目的室には荷物などを置くことの出来る台を設けました。

安全性ではトイレへ人が入ると電気が自然とつくものとし中に人がいることが確認出来るようにしました。視覚の面では中が見えないよう、入口をわけ男女感じ距離をおきました。また入口を列にしたことにより男女別々きれいに並ぶことの出来る効果もあります。

最後の金澤らしさでは金澤の昔ながらの雰囲気と合うよう、和を作り出しました。格子を多用し、照明は間接照明、真壁としました。真壁とし木のよい香りがたよ清潔と思われることにもなります。

